

加古川流域委員会 第8回 資料  
中間とりまとめ（案）

平成21年3月25日

国土交通省近畿地方整備局  
姫路河川国道事務所

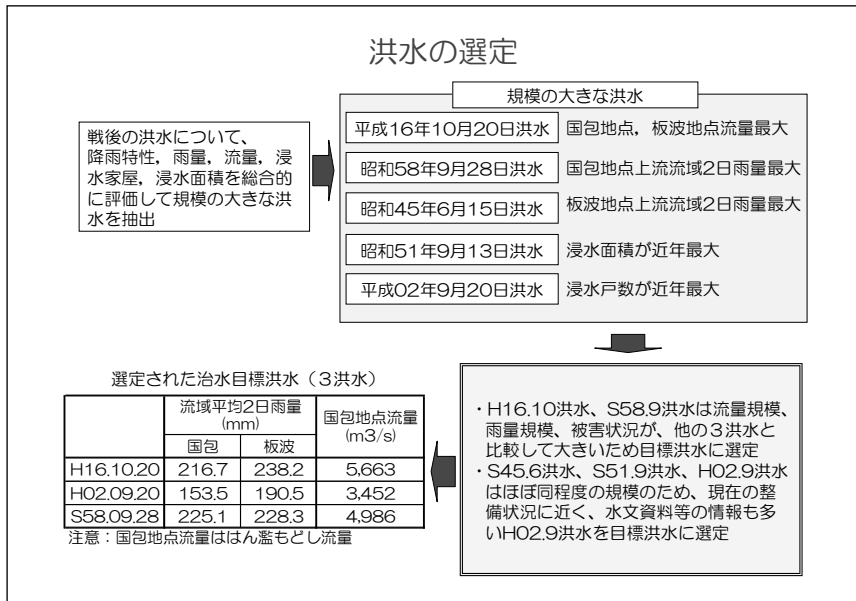
1

— 目 次 —

- 1.治水について
- 2.環境について
- 3.利水について
- 4.維持管理について

2

# 1.治水について



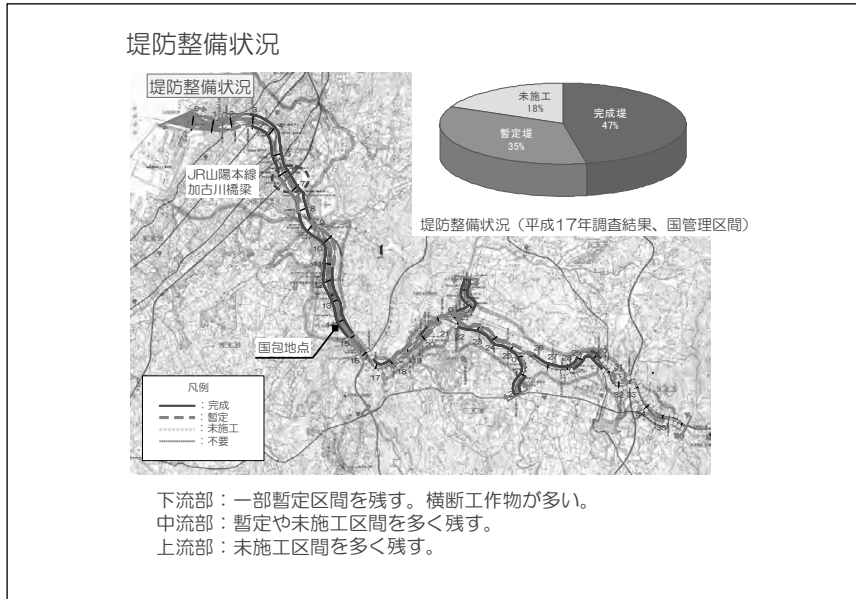
- ・ 戦後の洪水について、降雨特性、雨量、流量、浸水家屋、浸水面積を整理し、平成16年10月、昭和58年9月、平成2年9月の3洪水を目標とすべき規模の大きな洪水として選定する

## 台風23号(平成16年10月) 実績浸水区域図



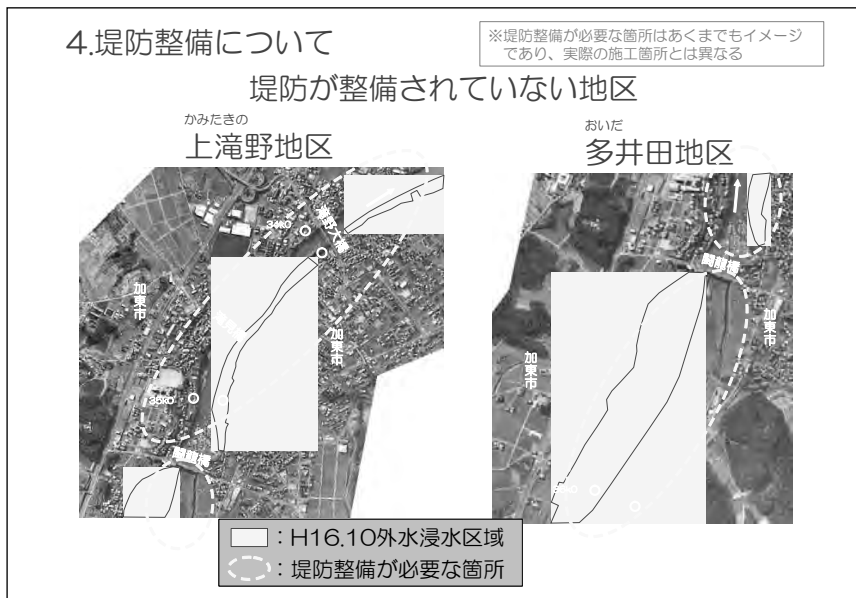
- ・ 平成16年10月洪水を対象に、具体的な対策案を検討していく<sup>4</sup>

# 1.治水について



- ・ 堤防が整備されていない地区の堤防整備を検討する

# 1.治水について



- ・ 川沿いに家屋が連担している地区では町づくりと一体となった整備を検討する

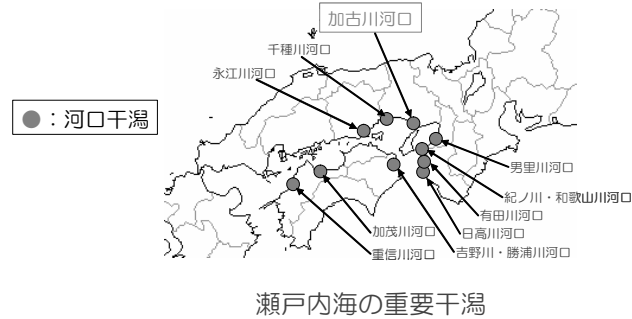
## 2.環境（干潟）について

第7回流域委員会資料

### 2.干潟について

#### 干潟の重要性について

- ・加古川河口干潟には、希少な動植物を含めた多様な種類の動植物が生育・生息しているほか、瀬戸内海で東に位置し、日本の重要湿地500にも選定されている



- ・希少な動植物を含めた多様な種類の動植物が生育・生息しており、瀬戸内海で東に位置し、日本の重要湿地500にも選ばれるなど、近畿地方で価値がある。
- ・干潮時には陸地になり、ヨシ群落が繁茂しているところを干潟とする

7

## 2.環境（干潟）について

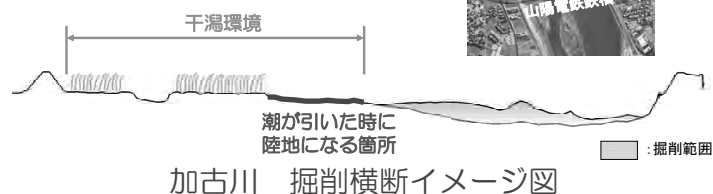
第5回流域委員会資料

### ① 河口干潟について

#### 具体的な対策の考え方

- ・河口干潟を改変しない
- ・モニタリングをしながら順応的に工事を実施

横断図1

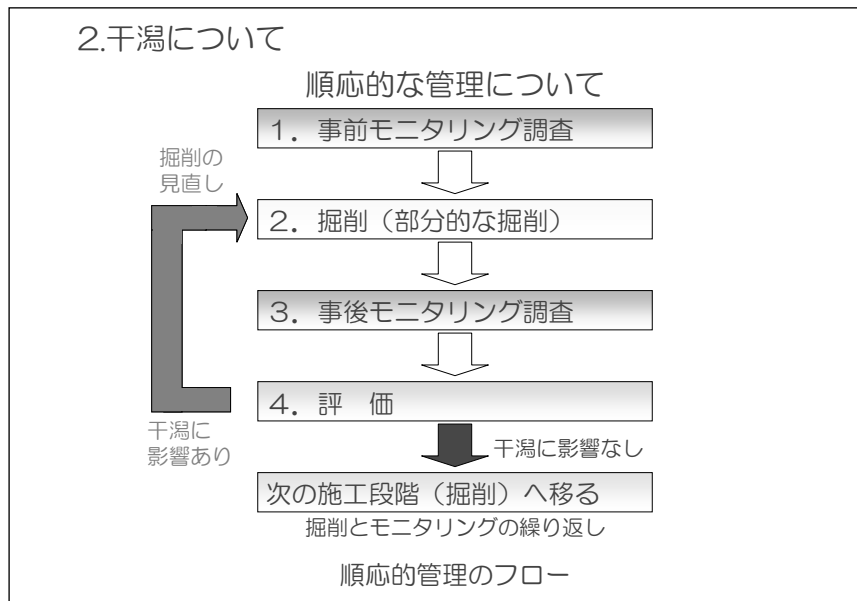


- ・干潟を保全し、干潟以外の部分の河道掘削を行う

8

## 2.環境（干潟）について

第7回流域委員会資料

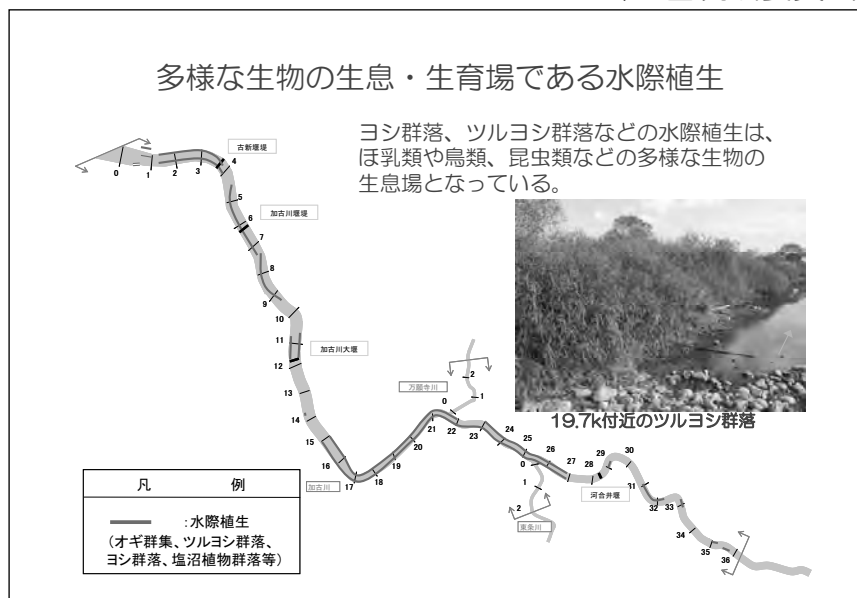


- ・ 河道掘削を行う際は、モニタリングを行いながら順応的な管理を行う
- ・ モニタリングを行う際は、地域活動や環境学習との連携を図る

9

## 2.環境（水際植生）について

第4回流域委員会資料



- ・ ヨシ群落、ツルヨシ群落などの水際植生は、ほ乳類や鳥類、昆虫類などの多様な生物の生息場となっている

10

## 2.環境（水際植生）について

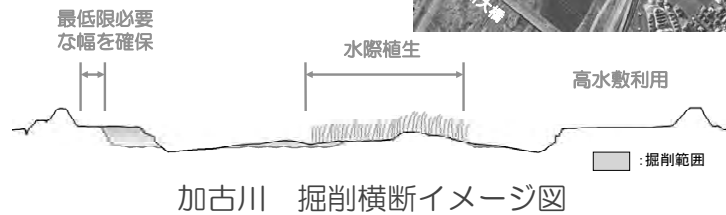
第5回流域委員会資料

### ② 水際植生について

具体的な対策の考え方

- ・ 山陽新幹線があるため深く掘れない
- ・ 水際植生が生育する場所は極力変えない
- ・ モニタリングをしながら順応的に工事を実施

横断図2



- ・ 水際植生は極力保全し、緩やかな勾配による平水位以上の河道掘削を行う
- ・ 河道掘削を行う際は、モニタリングを行いながら順応的な管理を行う
- ・ モニタリングを行う際は、地域活動や環境学習との連携を図る

11

## 2.環境（甌穴）について

第5回流域委員会資料

### ③ おうけつ 甌穴について



大門橋下流の甌穴群の状況



おうけつ

- ・ 大門橋付近の河床には、甌穴群（渦流によってできた穴）があり、貴重な地形を形成している（兵庫県レッドデータブック地形C）


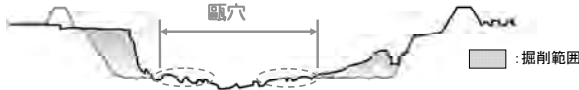
## 2.環境（甌穴）について

第5回流域委員会資料

③ 甌穴について  
具体的な対策の考え方

- ・ 甌穴を保全した河床掘削を実施

横断図4

加古川 掘削横断イメージ図

おうけつ

- ・ 甌穴を保全し、甌穴以外の部分の河道掘削を行う

13

## 2.環境（鬪竜灘）について

第7回流域委員会資料

3.鬪竜灘について  
鬪竜灘の歴史について

あえ よすけ

- ・ 阿江与助によって加古川が開削されて加古川の舟運が始まった
- ・ 鬪竜灘で必ず船が止まるため、物流の集散地・中継地として町が形成された




新町船着き場跡

【出典】近世の加古川舟運史  
—滝野船座を中心に—

「滝野川筋絵図（阿江家文書）」

- ・ 鬪竜灘は物流の集散地・中継地として町が形成されるなど、舟運で栄えた歴史がある。
- ・ 鬪竜灘の滝のような流れや露岩は、加古川を代表する景観となっている（兵庫県レッドデータブック地質・地形B）

14

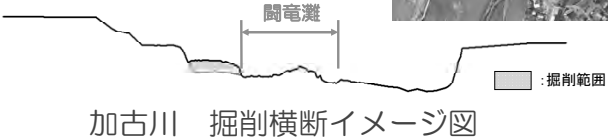

## 2.環境（鬪竜灘）について

第5回流域委員会資料

④鬪竜灘について  
具体的な対策の考え方

- ・整備計画期間中は、  
鬪竜灘の露岩を保全する方向

横断図5



加古川 掘削横断イメージ図

- ・鬪竜灘を保全し、鬪竜灘の流れや景観に配慮しながら、露岩部以外の河道を一部整正する

15

## 3.利水について

第6回流域委員会資料

③ 堰堤の役割について  
加古川堰堤・古新堰堤の現況

- ・加古川堰堤にて取水している
- ・古新堰堤にて潮を止めている



加古川堰堤

高砂市工水  
高砂市上水  
ハケ井用水

高砂市工水 (予備) 高砂市上水 (第2) 日本毛織工水

塩水の遡上

古新堰堤

日本毛織工水

古新堰堤・加古川堰堤 現況平面図

- ・加古川にある堰（古新堰堤，加古川堰堤，河合頭首工）は上水道，工業用水，農業用水の取水のために利用されている

16



### 3.利水について

第5回流域委員会資料

#### 参考1：古新堰堤の老朽化について

古新堰堤は、昭和4年に床固めとして設置された。



古新堰堤は昭和4年に設置された構造物



- ・老朽化している堰（古新堰堤，加古川堰堤，河合頭首工）は可動化や統合を含めた検討を行う

17

### 4.維持管理について

第7回流域委員会資料

#### 1.河道内樹木について

河道内の樹木（ヤナギ）の役割について

##### ①日本人とヤナギの関わり

- ・古くから人々の日常生活にとけ込んだ身近な存在
- ・各種の実用品にも利用されてきた

薪材、まな板、ようじ、柳行李 等

##### ②生態系における役割

- ・樹木の葉や種子を餌とする昆虫や鳥類の生息場所となる
- ・樹木から昆虫などが落下し、魚の餌となる



魚の採餌場のイメージ

- ・ヤナギは古くから人々にとって身近な存在であり、生態系における役割を担っている

18

## 4.維持管理について

第8回流域委員会資料

### 1.河道内樹木について

治水上支障となる樹木群について

- ①河道内に樹木が繁茂した場合、洪水の流下阻害となる
- ⇩
- ②治水上支障となる樹木群は伐採する
- ⇩
- ③治水上支障とならないように順応的に管理する



H16.10洪水時の樹木群  
(26k付近)



治水上支障となる樹木群  
(古新堰堤下流)

- ・ 治水上支障のある樹木は伐採する

19

## 4.維持管理について

第8回流域委員会資料

### 1.河道内樹木について

※伐採エリアはあくまでも予定であり、実際の施工箇所と異なる可能性がある

輪伐方法について

- ・ 隣接する樹木群が生物の生息に適した状態となるまで伐採しない
- ・ 行動範囲が狭い生物にも配慮して輪伐箇所を設定する



- ・ 輪伐による適切な管理を行う
- ・ モニタリングを行いながら順応的な管理を行う

20

## 4.維持管理について

第8回流域委員会資料

### 1.河道内樹木について

地域の方々と協働で実施する樹木管理について

#### ○加古川における伐採木利用の可能性

- ・河川工事に利用
- ・キノコ類の栽培に利用
- ・チップ化して燃料に利用
- ・薪に利用



キノコ類の栽培イメージ

- ・加古川と関わりのある方々と共に利用方法を検討する

- ・ 地域の方々と協働した管理を行う

21

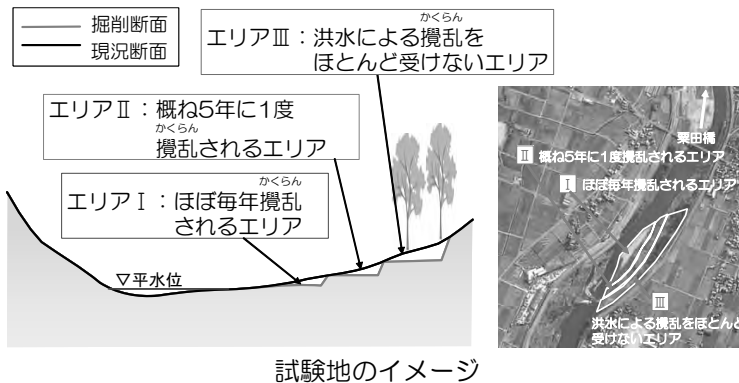
## 4.維持管理について

第8回流域委員会資料

### 1.河道内樹木について

河川営力を活用した河道管理

#### ○河川の営力を活用し、メンテナンス負荷の小さい河道管理を目指す



- ・ 河川営力を活用したメンテナンス負荷の小さい管理を目指す

22